

いつ起きてもおかしくない首都直下地震に備えて

東京都は戸建住宅等の耐震化を支援しています



住まいの耐震性、自分でチェック

自分の住まいを思い浮かべて簡単にチェックしてみましょう。

Q1

建てたのはいつ頃ですか？

- 建てたのは昭和56年(1981年)6月以降
- 建てたのは昭和56年(1981年)5月以前

Q2

いままでに大きな災害に見舞われたことがありますか？

- 大きな災害に見舞われたことがない
- 床下浸水・床上浸水・火災・車の突入事故・大地震・崖上隣地の崩落などの災害に遭遇した

Q3

増築しましたか？

- 増築していない。または、建築確認など必要な手続きをして増築を行った。
- 必要な手続きを省略して増築し、または増築を2回以上繰り返している。増築時、壁や柱を一部撤去するなどした

Q4

傷み・補修・改修は？

- 傷んだところは無い。または、傷んだところはその都度補修している。健全であると思う。
- 老朽化している。腐ったり白蟻の被害など不都合が発生している。

Q5

建物の平面はどんな形ですか？

- どちらかという長方形に近い平面
- どちらかというLの字・Tの字などの複雑な平面

Q6

大きな吹き抜けがありますか？

- 一辺が4m以上の大きな吹き抜けはない
- 一辺が4m以上の大きな吹き抜けがある

Q7

1階と2階の壁面が一致しますか？

- 2階外壁の直下に1階の内壁または外壁があるまたは平屋建である
- 2階外壁の直下に1階の内壁か外壁がない

Q8

壁の配置は？(1階の外壁に着目)

- 1階外壁の東西南北どの面にも壁がある
- 1階外壁の東西南北各面の内、壁が全くない面がある

Q9

屋根葺材と壁の多さは？

- 瓦など比較的重い屋根葺材であるが、1階に壁が多い。または、ストレート・鉄板葺・銅板葺など比較的軽い屋根葺材である
- 和瓦・洋瓦など比較的重い屋根葺材で、1階に壁が少ない

Q10

どんな基礎ですか？

- 鉄筋コンクリートの布(ぬの)基礎またはベタ基礎・杭基礎
- その他の基礎

各項目の詳細な解説はこちら



出典：一般財団法人 日本建築防災協会HP

赤字の項目に1つでも当てはまる場合は、専門家に診てもらいましょう。東京都では無料のアドバイザー制度を設けています。

平成12年(2000年)5月以前に建てた住宅もチェックしましょう

問診結果を踏まえ、対策をチェック!